

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスLOOP住吉		公表日		令和8年2月9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	その日の利用者に応じて配置を決めている。	利用者の身体の状態によっては狭い時もある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用者の人数によってシフトを組んでいる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		トイレ、浴室の視覚化や手すりの設置等バリアフリーで対応しており、段差もなく安全に利用できる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		子ども達が安全に過ごせるよう物品やフロアは毎日消毒し、日々決められた清掃を行っており清潔にしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じてカーテン等を利用し、個別の空間を作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		業務改善は適宜行なわれているが、目標設定は不透明であるため、今後設定していくよう努める。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の評価表のアンケートを実施し、事業所内で自己評価を行い方策を検討している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員の意見を常時聴取できる環境や機会をつくり業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				今現在、外部評価は行なえていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個人的は目線で判断せず、作成する際には支援に関わっているスタッフから聞き取りし作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画内容はミーティングで報告、共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の様子もHUGシステムを導入し、記録し確認している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		チームではないが担当を決め指導や見直し、確認を行っている。	チームで協力して立案できるように打ち合わせ時間をもつよう支援する。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	6ヶ月毎に見直している。変更があるときは都度話し合い固定化しないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	前日に役割分担を行い、支援の入り方や内容を決めている。	「必ず」はできていないので、朝の迎えが終わってから少しでも打ち合わせの時間をつくる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	気づいた点や振り返りで感じたことは日報を活用し、共有している。当日が無理なときは翌日の日報で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGシステムの連絡帳で記録し、モニタリング時に検証・改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6ヶ月毎に保護者様と面談し見直しを適宜行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		自発管のみが参加ではなく、保育士・看護師も参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		移行の際は、学校側と連携や話しをお聞きし情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		5	現在行えていないが、助言を受ける機会があれば参考にしていく。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	現在、交流の機会はない。	今後、要望があれば交流の機会を作っていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		面談や送迎時にお伝えし、課題や発達の状況を伝え合っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	今現在、行えていない。	今後、要望があれば交流の機会を作っていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明させていただきお伝えしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約時やモニタリング時に面談させていただき確認している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		支援内容をご説明し、同意の上サインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		LINEやHUGでいつでもご連絡いただけるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	現在、行っていない	前向きに計画中であるが、まだ実行にうつせていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		電話やLINEを活用し迅速に、適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	SNSやブログで発信している。	発信の数が少ないので、増やしていくよう努める。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きの書庫にて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		ジェスチャーや表情、絵やカードを用いて関わっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	地域や他事業所のお祭りや行事にに参加している。	本事業所が開催はしていないので。前向きに検討したい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		策定し職員には周知できているが、ご家族様には契約時にお伝えしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		策定し職員には周知できているが、ご家族様には契約時にお伝えしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬やてんかん発作は確認している。予防接種もアセスメントの際確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		安全確保の共有が出来ていないので、弊所でおこなっている安全計画を基に周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットを記入し、全職員で共有し確認するなど周知できるシステムになっている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		委員会を設置し、研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		契約時にご説明をさせていただき、保護者様から同意を得て計画案に記載している。	